

決して
忘れられない
日々がある

長崎

—閃光の影で—

菊池日菜子

小野花梨 川床明日香

水崎綾女 渡辺大 田中倭登 奥城久美 坂ノ上茜 田畑志真 松尾百華 KAKAZU
加藤雅也 有森也実 萩原聖人 利重剛 池田秀一 山下フジエ
南果歩 美輪明宏 (あり)

原案:「閃光の影で—原爆被爆者救護 赤十字看護婦の手記—」(日本赤十字社長崎県支部)
監督:松本准平 脚本:松本准平 保木本佳子

主題歌:「クスノキ 閃光の影で」(アミューズ/Polydor Records)

作詞・作曲:福田雅治 編曲:福田雅治 / 井上 陽 歌唱:スミ(菊池日菜子) / アンナ(小野花梨) / ミサカ(川床明日香)
製作:岩本朝沢 荒木宏幸 吉田尚剛 高田勉人 関根剛 川村英己 川畑年弘 福田雅治

企画:中村佳代 エグゼクティブプロデューサー:岩本朝沢 吉田尚剛 プロデューサー:関根剛 ラインプロデューサー:木村和弘

撮影:灰原隆裕 照明:川井裕 録音:藤原佑弥 大竹修二 美術デザイン:丸尾知行 衣裳:森口誠治 ヘアメイク:清水美穂 特殊メイク・造形デザイン:百武周

編集:藤田真一 特殊視覚効果:泉谷修 サウンドデザイン:藤原佑弥 助監督:新谷和弥人 制作担当:小沼秀剛 キャスティング:岩瀬志美子

音楽:小野川浩幸 制作プロダクション:SKY CASTLE FILM ふれぱり 配給:アークエンタテインメント ©2025「長崎—閃光の影で—」製作委員会

推薦:日本カトリック司教協議会 後援:長崎県 長崎市 公益財団法人長崎平和推進協会

nagasaki-senkou-movie.jp X @nagasaki_senkou

1945年、夏。「青春」と呼ぶには あまりにも苛烈な、少女たちの物語。

令和8年8月23日(日) (開場30分前) 上映時間 109分

① 10時00分～ ② 13時30分～

神河町中央公民館 グリンデルホール (〒679-3116 神河町寺前64番地)

■ 主 催 神河町遺族会

■ お問合せ 神河町遺族会事務局(住民生活課内) TEL:34-0962

© 2025「長崎—閃光の影で—」製作委員会

鑑賞料
無 料

一変した日常の中で 看護学生として、人として 使命を全うしようとした 少女たちの戦いが始まった

作品紹介

1945年、原爆投下直後の長崎で、若き看護学生たちが命を救おうと奔走していた—日本赤十字社の看護師たちによる手記「閃光の影で一原爆被爆者救護 赤十字看護婦の手記—」を原案に、当時看護学生だった少女たちの視点から原爆投下という悲劇を描いた感動作が誕生した。

手記に記された体験をもとに脚色を加えながら生み出された3人の少女たちを演じるのは、菊池日菜子、小野花梨、川床明日香といったフレッシュな新鋭。医療態勢もままならない状況下で命と向き合い続けた一カ月に及ぶ救護活動の日々が、スクリーンに克明に刻まれる。また、長崎原爆投下の前日を描いた名作『TOMORROW明日』の南果歩が、30年以上の時を経て再び長崎の物語に重要な役どころで出演。さらに、本作の原案にも体験を寄せた元看護学生のひとりである山下フジエさんが特別出演し、その山下さんの思いを長崎出身の被爆者・美輪明宏が語りとして声で体現する。

主題歌は、長崎出身の福山雅治が被爆クスノキを題材にした「クスノキー閃光の影で一」のプロデュース・ディレクションを担当。

2025年を生きる私たちと同じように、彼女たちにも家族、友人、恋人、ささやかな喜び、そして夢があった。しかし、その“青春”は一瞬で奪われた—。

それでも未来を諦めなかった少女たちの姿は、戦後の現代に生きる私たちに深い問いを投げかけるだろう。

